

資 料

富山県で絶滅した大型動物(哺乳類・鳥類)の記録 III 博物館資料からの報告*

南部久男

富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町1-8-31

The Inhabited Records of the Animals
Extinguished in Toyama Prefecture.
III Informations from Museums.

Hisao NAMBU

富山県の絶滅動物調査の一環として、富山県内の歴史・民俗系博物館等へ絶滅動物資料のアンケート調査を行い、若干の知見が得られたので報告する。なお、個人の方へのアンケート調査は別途報告した(南部, 1999b)。

方 法

アンケートの対象動物は、個人へのアンケート調査と同様で(南部, 1999b)、哺乳類ではオオカミ、カワウソ、アシカ(又はトド)、イノシシ、ニホンジカの5種、鳥類ではトキとコウノトリの2種の計7種である。これらの絶滅動物の富山県産の資料(剥製や狩猟道具等)の所蔵を中心に設問した(表1)。

アンケートは、富山県内の総合博物館1館、歴史・民俗系等の博物館26館、自然系5館の計32館である。なお、科学文化センター所蔵資料も筆者が調査した。回答いただいた内容については、再度電話などで確認したり、一部調査を行った場合もある。アンケートは、平成10年12月5日付けで発送し、回答の締め切りは原則として平成11年1月15日とした。

調査結果

I アンケート結果

アンケートの回答は、28館からいただき、そのうち6館に資料等の所有が明らかになった。なお、科学文化センターにも資料が所蔵されている。動物別では、イノシシ、ニホンジカ、アシカ、コウノトリの資料の存在が明らかになったが、オオカミ、カワ

ウソ、トキの資料の情報は得られなかった。また、ツキノワグマに関する情報も得られた。

以下に動物別の資料や情報の内容を記す。大まかに、実物資料(生体、剥製、骨)、民俗資料(ヤリ)、文献(古文書等)、伝聞情報(伝説など)、目撃情報に分けて記述した。データは、資料や情報の分類、内容、情報提供館、担当者(敬称略)の順に記した。

イノシシ

<実物資料>

- ・朝日貝塚出土資料(縄文時代); 出土資料の中にイノシシの骨の一部がある; 氷見市立博物館(大野究)
- ・剥製; 常設展のジオラマに展示中(平成4年設置)。産地不明。; 魚津埋没林博物館(石須秀和)
- ・生体等; 生体、剥製、頭骨、写真所有。全て飼育下のもので、県外の施設より譲り受けたもの; 富山市ファミリーパーク(村井仁志)
- ・剥製; 1点。採集場所は砺波市伏木谷。採集年月日は1978年1月下旬。製作は同年3月。受贈年月日は1978年5月21日; 高岡市古城公園動物園(西岡満); 南部(1999b)でも報告した。
- ・剥製; 兵庫県産の剥製1点(1988年購入)及び岡山県産の頭骨1点(昭和54年のオープン時の常設展で展示); 富山市科学文化センター(南部久男)

<文献・伝聞情報>

- ・古文書; 芦峯寺一山会文書。江戸時代、芦峯寺一山会より加賀藩に対し猪害につき報告したもの; 富山県立山博物館(木本秀樹)
- ・古文書; 文化六年「諸上留」。刈ヶ谷村(福岡町五位)で猪三匹捕獲し褒美米が出された記録。外に寛政十三年の留帳などにもイノシシの記載がある; 福岡町歴史民俗資料館(斉藤芳攝)
- ・伝聞情報; 猪谷は「イノシシ」が多く棲んでいた「猪谷川」からという説があるが、イノシシについての伝説や言い伝えはない。; 猪谷関所館(中村哲郎)

ニホンジカ

<実物資料>

- ・朝日貝塚出土資料(縄文時代); 出土資料の中にニホンジカの骨の一部がある; 氷見市立博物館(大野究)

*富山市科学文化センター研究業績第215号

- ・剥製；常設展のジオラマに展示（平成4年設置）。産地不明；魚津埋没林博物館（石須秀和）
- ・剥製等；生体，剥製，頭骨，写真所有。全て飼育下のもので，県外の施設より譲り受けたもの；富山市ファミリーパーク（村井仁志）
- ・骨；頭骨1点（産地不明）；富山市科学文化センター（南部久男）

<民俗資料>

- ・ヤリ；シシヤリ（完成品3点，欠損品1点）；氷見市立博物館（小境卓治）；詳細は後述。

<目撃情報>

- ・目撃情報；平成10年10月23日，婦負郡婦中町下井沢地内でゴミ集じん機内に後あしはさまれ骨折し保護された；自然博物館センターねいの里（間宮寿頼）；南部（1999b）でも報告。

<文献>

- ・村史；細入村史にはイノシシやシカが神通狭周辺で目撃されたり，捕獲された記録があることが記述されているが，当館には資料は所有していない；猪谷関所館（中村哲郎）

ツキノワグマ

<民俗資料>

- ・ヤリ；熊槍。法量181.5cm。昭和20年頃まで使用。産地は立山町芦峠寺。製作不詳。熊のみならず，その他の狩猟にも用いたと言う。護身用にも使われたと言う。；富山県立山博物館（木本秀樹）

オオカミ

<文献・伝聞情報>

- ・古文書；新田二郎編他（1988）の「吉川随筆・前田氏家乗」の「前田氏家乗 二 前田正甫公伝」（480ページ）に，延宝6年（1678）3月に婦負郡奥田村山中で狼を捕らえたという記事がある；富山市郷土博物館（兼子心）
- ・伝聞；山犬（オオカミ）の伝説がある；福岡町歴史民俗資料館（斉藤芳攝）

表1-1 アンケート票(表)

様式B：No.

富山県の絶滅動物資料アンケート

富山市科学文化センターでは，県内で絶滅したと思われる動物の過去の生息調査を行なっております。イノシシやシカは県内ではほとんど生息しませんし，ニホンカワウソやトキなどは絶滅したと考えられています。これらの動物の資料についてのアンケートにご協力下さい。

以下の質問にお答え下さい。

1. 絶滅動物7種の資料の所蔵について	<○を付けて下さい>
・ニホンオオカミの資料を所蔵して	(いる ・ いない)
・ニホンカワウソの資料を所蔵して	(いる ・ いない)
・ニホンアシカ(又はトド)の資料を所蔵して	(いる ・ いない)
・イノシシの資料を所蔵して	(いる ・ いない)
・ニホンジカの資料を所蔵して	(いる ・ いない)
・トキの資料を所蔵して	(いる ・ いない)
・コウノトリの資料を所蔵して	(いる ・ いない)

<資料を所蔵しておられる場合>

よろしければ具体的な資料名「剥製、毛皮、骨、狩猟道具(シシヤリ等)、写真、古文書、文献、新聞記事等」及び資料の簡単な内容「産地、使用年代、製作年代のデータや記述内容など」をご記入下さい。

() ← 動物名

資料名 _____

資料の内容 _____

()

資料名 _____

資料の内容 _____

裏に続きます

カワウソ

<目撃情報>

- ・目撃情報；50数年前小矢部川にカワウソが生息していた。鳴き声など聞いた記憶がある。；福岡町歴史民俗資料館（斉藤芳攝）

アシカ

<実物資料>

- ・朝日貝塚出土資料（縄文時代）；出土資料の中にアシカの骨の一部がある；氷見市立博物館（大野究）

コウノトリ

<実物資料>

- ・生体；生体3羽（雄1，雌2），写真所有。全て飼

表1-2 アンケート票(裏)

() ← 動物名

資料名 _____

資料の内容 _____

()

資料名 _____

資料の内容 _____

2. その他に情報がございましたら教えてください。

(例) シシ垣や地域に伝わる伝説等

博物館名 _____

ご担当の方のお名前 _____

ご回答いただきました情報につきましては、こちらからお問い合わせすることがあると思いますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

富山市科学文化センター 担当 南部 久男
〒939-8084 富山市西中野町1-8-31 TEL: 0764-91-2123 FAX: 0764-21-5950

ご協力ありがとうございました。

育下のもので、県外の施設から繁殖のため借用している（ブリーデングローン）；富山市ファミリーパーク（村井仁志）

その他

カッパ

<伝聞情報>

- ・伝聞；黒部市石田に「カッパの薬」に関する伝説がある；魚津市立水族館（高山茂樹）

II 氷見市立博物館所蔵「シシヤリ」と「ニホンアシカの骨」

1999年2月10日に氷見市立博物館所蔵のシシヤリとニホンアシカの骨を調査した。

<シシヤリ>

シシヤリは計4点が所蔵されていた（表2）。その内、完全なものは2点で残りの2点は柄の先が欠損していた。刃と握り棒の連結方法は、3点が、筒状の刃の基部を握り棒の先にはめ込むタイプで（図1）、残りの1点は、平板な刃の基部を割れ目を入れた握り棒に差込み、鉄の輪で止めるタイプ（図2）であった。刃の形は、いずれも柳の葉のような形で、一面は平坦で、反対側は隆起し、断面は二等辺三角形であった。平坦な面には、4点とも血走りがあった。採集地はいずれも氷見市であるが、使用した動物、使用状況、使用年等は不明である。これらのヤリは、シカまたはイノシシを捕らえる際に使用したものと考えられる。なお、同博物館小境卓治学芸員によれば、シシヤリは採集語彙であり、氷見市では一般的な呼称として用いられているとのことである。

<ニホンアシカの骨>

ニホンアシカの骨は、氷見市朝日貝塚で出土したものである。骨の詳細な部位は不明であるが、四肢の骨等13点が収蔵された。これらの資料は、大正13年に朝日貝塚の調査で出土した資料の一部で、昭和初年頃、地元に戻還され、

氷見中学（現氷見高校）に保管されていたものが、氷見市立博物館に移管されたものである（氷見市教育委員会、1997）。ニホンアシカの同定は、昭和59年に早稲田大学教育学部金子浩昌講師（当時）によりなされ、この際、朝日貝塚産のイルカ類、イノシシ、ニホンジカ、イヌ、ツキノワグマの獣類も同定されている（金子、1987）。

III まとめ

今回、富山県で絶滅した動物が過去に生息していた直接的な証拠となる資料の存在を確認するため、アンケート調査を実施した。実物資料では、富山県産のイノシシの剥製が唯一所有されているのみであった。シカ皮、イノシシ皮、カワウソ皮が明治時代に

表2 氷見市博物館所蔵のシシヤリ

通しNo.	資料No.	全長 cm	刃の長さ* cm	柄の太さ** cm	状態	刃の装着	採集地	受け入れ年
1	—	187	16	4	完全	筒	氷見市本町	昭和61年
2	—	181	15	3.7	不完全	筒	氷見市本町	昭和61年
3	16	152.8	11.5	3.8	不完全	筒	氷見市小久米小学校校区	昭和55年
4	14	186.8	10	2.5	完全	差込み	氷見市白川	昭和55年

* 刃の長さ、先端からくびれた部分まで

** 柄の太さ、刃の装着部分の握り棒の直径

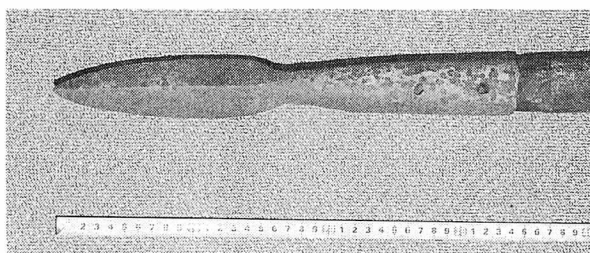


図1 氷見市博物館所蔵のシシヤリ (表1のNo.1)

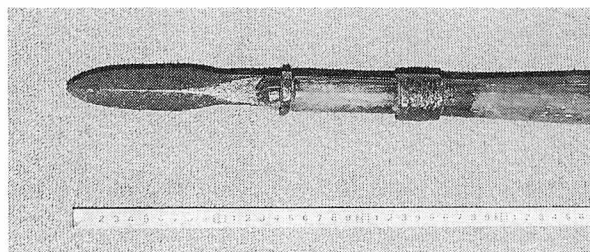


図2 氷見市博物館所蔵のシシヤリ (表1のNo.4)

富山県で生産されていたことが明らかになっているが(南部, 1999 a), これらの毛皮等の情報は得られなかった。

狩猟道具のヤリが2館で残っており、氷見市立博物館所蔵のヤリは、氷見市内で収集されたもので、イノシシあるいはシカを捕らえたものと思われる。岐阜県飛騨地方や西農地方の農山村の民家には、イノシシを捕らえるためのシシ槍が常備されていたことが知られている(田口, 1984)。富山県では、明治時代に高岡市でシカが大雪の時に捕らえられた伝聞情報があり(南部, 1999 b), シカ等を捕らえたヤリがまだ民間に残っている可能性がある。

文献では、イノシシやオオカミに関する古文書が確認されたが、加賀藩の古文書には、イノシシ、シカ、オオカミ等に関する資料が多数存在することが知られており(広瀬, 1998), これらの古文書の分析により、江戸時代の生息状況を明かにすることができると思われる。

今回調査した資料や文献はごく一部と思われ、今後の継続的な資料調査、文献調査等が必要である。

謝 辞

アンケート調査にご協力いただいた次の館に厚くお礼申し上げる(五十音順, 敬称略)

相倉民俗館, 朝日町宮崎自然博物館, 井波歴史民俗資料館, 猪谷関所館, 魚津市立水族館, 魚津市立歴史民俗資料館, 魚津埋没林博物館, 大山町歴史民俗資料館, 小矢部ふるさと博物館, 宗教法人千光寺, 庄川町水資料館, 庄川民芸館, 平村郷土館, 高岡市古城公園動物園, 高岡市万葉歴史館, 高岡市立博物館, 立山町郷土資料館, 利賀民俗館, 礪波市立礪波郷土資料館, (財)富山県教育記念館, 富山県警察資料展示室, 富山県立山博物館, (財)富山県民福祉公園自然博物館センター「ねいの里」, 富山市郷土博物館, 富山市ファミリーパーク, 富山市民俗民芸村, 滑川市立博物館, 氷見市立博物館, 福岡町歴史民俗資料館, (財)二上山郷土資料館, (財)水橋郷土史料館, 民俗資料館村上山。

氷見市立博物館小境卓司, 大野充の両学芸員には、同館所有のシシヤリ、ニホンアシカの骨の調査にご協力いただき、シシヤリのデータ、呼称、文献についてご教示いただいた。厚くお礼申し上げます。

なお、本調査は平成10年度富山県博物館協会の研究助成金の一部を用いた。

参考文献

- 氷見市教育委員会, 1997. 朝日貝塚Ⅲ, 範囲確認試掘調査概要(3). 18pp. + 図版4.
- 広瀬誠, 1998. 越中の動物たち—主として加賀藩の資料から—, 越中の文学と風土. pp. 119-142. 桂書房. 460pp. (原典は、信濃18巻1号(1966)に掲載され、本論は、一部加筆(付記)されている)
- 金子浩昌, 1987. 富山・石川県下の動物骨. 大境(11): 51-58.
- 南部久男, 1999 a. 富山県で絶滅した大型動物(哺乳類・鳥類)の記録 I 明治・大正時代の富山県における哺乳類の毛皮及び狩猟等の統計. 富山市科学文化センター研究報告(22): 153-168.
- 南部久男, 1999 b. 富山県で絶滅した大型動物(哺乳類・鳥類)の記録 II ナチュラリストからの報告.

富山市科学文化センター研究報告(22)：169-176.
新田二郎編・富山藩士研究会解説，1988. 吉川随筆・
前田氏家乗，越中資料集成 3.652pp. 桂書房.
田口五弘，1984.3章民俗，岐阜県下のイノシシに関

する調査報告. 岐阜県における哺乳類の生息状況
と，その環境調査及び環境教育にかかわる研究.
pp.194-213. 岐阜県哺乳動物調査研究会発行 284
pp.